



新！リハビリテーションシリーズ

第1回

リハビリテーションシリーズでは、当院で特徴的に行っているリハビリテーションの12分野を10回シリーズで紹介したいと思います。

リハビリテーションとは

リハビリテーション科技師長
(理学療法士) 大羽 明美 (おおば あけみ)

一言でリハビリテーションと言っても、頭の先から足まで、また身体機能障害から精神障害まで、リハビリテーションの実際は多面的です。さらに病院方針として、地域の皆さまの健康を守る病院になるべくセンター化している診療科もあり、各診療科に対応できるようリハビリも専門性を高めています。

地域包括ケア病棟

理学療法士 一志 いっし ひろたか 太陽

本館5階の病棟は地域包括ケア病棟です。当院の地域包括ケア病棟は、在宅復帰支援のための病床で、基本的には急性期治療が終わり退院前の準備をする病棟です。

入院直後や手術直後の、してもらうリハビリから、退院に向けて自宅での生活をより具体的に

にイメージした患者さん自身がするリハビリ、生活リハビリを、リハビリスタッフ、看護師、介護福祉士がチームとして関わっています。

ご高齢の方は短期間の入院でも治療などで寝ていることにより筋力、体力が衰えやすく、病気や怪我は退院可能な状態に治癒しても身体動きは十分回復できないまま退院を迎えることになることもあります。入院前の自宅生活環境で生活することが難しくなることもあり、必要性に応じてリハビリスタッフと医療相談員が地域の在宅生活支援者とともに退院前にご自宅へ訪問し生活環境の適切な評価をしアドバイスも行っています。

「ときどき入院、ほぼ在宅」で皆さまが住み慣れた地域でより長く、より健康で暮らせるようお手伝いさせていただきます。



生活・福祉などのご相談は
医療相談室
月曜日～金曜日、第1・3土曜日
お問い合わせ：0261-62-3166(代表)



リハビリの様子



理学療法士一志さんと患者さん